

能登産米の収量確保・品質向上

緊急情報

7月の降雨量は平年比3.5%と少なくなっており、今後も降水量が少ない予報となっております。

出穂前後の渇水は収量・品質への影響が大きいことから、被害を最小限に抑えるためにも以下の対策を実施しましょう。

- ✓ 現有的水、今後の降雨による雨水を有効に利用するため、水戸尻を閉じ、畦畔等からの漏水を防止する。
- ✓ ポンプアップ等でかん水が可能な場合は、穂ばらみ期（出穂期7日～14日前）～出穂期に集中的に通水する。

品 種	出穂期	特に水を必要とする期間
コシヒカリ	7月30日	7月16日～8月1日頃
ひやくまん穀	8月6日	7月23日～8月8日頃

- ✓ 常時湛水の必要はないが（高温時の湛水は稲を弱らせる。）土壤が黒湿り状態で、握れば土がだんご状となる程度の水分を保つように灌水する。